

親子聖書日課

NO.1550 2018.6/10-16 名前

[日]神の仕事をするためには、人間の能力や努力が大事ではありません。神の霊に満たされ、知恵や知識を神から頂くことです。神は私達一人一人に適切な賜物を下さいますから、その賜物を発見して、主のために使うなら、実を結びます。

[月]民はモーセが山から下りてこないのが不安になり、「先立って進む神々を造って下さい」と要求しました。目に見える印がないと不安なのです。私達は「先立って進む神々を造る」のではなく、「先立って進む神のみ心を求める」べきです。

[火]人は罪のために贖いができるのか、モーセは金の子牛を砕き、アロンを責め、レビ人に民を打たせました。罪に対して肉親を打つほど厳しかったのです。しかし、贖いの確信は持てませんでした。人の罪は十字架の主だけが贖えるのです。

[水]祈りが聴かれるためには、モーセのように絶えず幕屋に入り、そこで「友と語るように」主と親しく交わることです。私達も静かになれる場所と時を聖別して、朝ごとにみ言葉を聴きましょう。又、祈禱会にも参加しましょう。祈りは聴かれます。

[木]太陽を直視できないように、罪深い人間は神を見ることはできません。見ると死ぬのです。神が通り過ぎるまで「岩の裂け目」に入らないと助かりません。この岩こそ、私達のために裂かれた主の十字架です。そのそばに立つことです。

[金]神が罪を赦して下さるからといって、甘えてはいけません。主に喜ばれることを行うことです。そのために、「主よ、私達の中にあって進んで下さい」といって祈り求めましょう。それは、心の王座を主に明け渡し、主に従うことです。正しい道を歩めます。

[土]モーセはシナイ山で40日間主と共に過ごしたので、顔は輝きました。その事に周りの人は気づきました。主と交わりを絶やさない人は、いつも輝いて、周りの人に主の救いを伝え、伝道の実を結びます。主との交わりこそ、輝いて生きる秘訣です。



	聖書	問題	答え
日	出エジプト 31:1-18	何が記された石の板をモーセにお授けになりましたか。	
月	32:1-14	イスラエルの民はどんな鑄造を造り、それにひれ伏しましたか。	
火	32:15-35	モーセは民の罪のために何ができるかもしれないと思いましたが。	
水	33:1-11	主に伺いを立てる者は宿営の外にあるどこへ行くのですか。	
木	33:12-23	主の栄光が通り過ぎる時、主はモーセをどこへ入れましたか。	
金	34:1-17	モーセは、主よ、私達の中にあってどうして下さいと祈りましたか。	
土	34:18-35	モーセが神と語っている間に、彼の顔の肌はどうなりましたか。	
感想と祈りの課題			